

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

大学生による鈴鹿抹茶のレシピ提案 「鈴鹿学」の取り組み

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部では、全学共通科目「鈴鹿学」があり、「鈴鹿市の地域課題を知り、それをどのように解決するか」という目標で授業を進めています。今年度は、遠隔授業が中心でしたが、鈴鹿市役所による「鈴鹿市の産業、歴史、地勢」、鈴鹿国際交流協会による「鈴鹿市の多文化共生社会実現のために～現状と課題～」、鈴鹿市社会福祉協議会による「鈴鹿市災害ボランティアセンターについて」などの講義と課題ワークという組み合わせで、SDGsを意識した構成となりました。その中で、鈴鹿市の地域資源である「鈴鹿抹茶」による地域活性化の取り組みに、学生が関わった事例を紹介します。

三重県は、あまり知られていないのですが、全国第3位の生産量を誇るお茶どころ、その中でも、鈴鹿山脈の山ろく地域では、「かぶせ茶」の生産量が全国1位です。かぶせ茶は「冠茶」と書き、お茶を収穫する前に黒いネットで覆いをかけて遮光することによって、うまみがあり、渋みが少なく、鮮やかな緑色の特徴となります。その「かぶせ茶」の中でも、最高級の茶葉を使ってつくられたのが「鈴鹿抹茶」です。

授業では、「鈴鹿抹茶ブランド化研究会」事務局の方から、鈴鹿市の特産品「鈴鹿抹茶」の特徴、地域活性化に向けた取り組みとして「鈴鹿抹茶」を使用した商品開発とその商品を活用した活動について紹介していただきました。

そこで、今年度は、学生たちによって「鈴鹿抹茶」を使ったレシピを考案、動画化して、同研究会のウェブサイトで紹介することを目標としました。9月掲載レシピには、抹茶ダalgona、抹茶あんまん、抹茶ムースのいちごジャム添え、アスリート抹茶碗蒸しの4品がアップされました。留学生、食物栄養学専攻の学生、強化運動部員というそれぞれのバックグラウンドを活かした多彩な提案となっています。また、遠隔授業という制限の中でも、地域の団体とコラボができた事例としてもユニークな取り組みでした。今後も、学生によるレシピを順次公開予定です。

この活動を通じて、学生が身近な「鈴鹿抹茶」の現状について知り、大ブームとなっている「MATCHA」を認識しながら、学生目線のレシピを広く発信することによって、地域貢献活動の取り組みをさらに後押しする一助となれば幸いです（文責 鈴鹿大学 冨本先生）。



鈴鹿抹茶ブランド化研究会
鈴鹿抹茶レシピページ（写真右）
<https://suzuka-matcha.jp/pages/161/>



三重創生ファンタジスタオリジナル授業 前期集中講義「医療・健康・福祉実践」

三重大学と鈴鹿医療科学大学の学生9名が参加した、日本理解特殊講義「医療・健康・福祉実践」の集中講義が無事に終了しました。

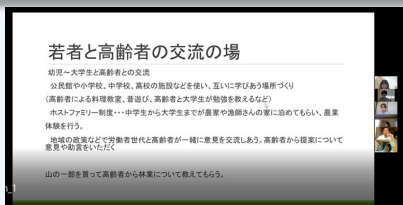
（写真右上：人文学部1年の学生が若者と高齢者が共に活躍する場の創出を、とプレゼンをする一コマ）

改めて参加したゲストの先生方をご紹介しますと、三重大学医学部附属病院（今井先生）、津市・志摩市の消防本部（富田氏、藤谷氏）、志摩市民病院（江角先生）、志摩市社会福祉協議会（天白氏）、介護事業所（岩田氏）、紀南病院（森本先生）、くまのなる在宅診療所（濱口先生）、産業医（平井先生）、島根大学医学部（岩下先生）、企業家（ベルリン在住・元Salesforce矢野氏）と、国内外からご講義をしていただきました。

～学生の声をご紹介します～

・今回の一連の授業の中でたくさんのディスカッションを経験したことで、人に話すというのは、自分の意見を精査する機会でありほかの視点の意見を取りこんだり議題をより深掘りしたりする機会であると感じました。そしてこれらの機会は自分にとってとても非常に楽しく有意義な時間です。

・元々知識至上主義のきらいがあった。（中略）「知らないからこそ」分かることがあるということに触れていただいたことで、知っているからこそできないこと、知っているからできることの両方についてより意識していけるようになった。授業紹介記事：https://conso-mie.jp/2021/09/08/0903iryuu_kenkou_fukushi/（9/3事後学習）



三重創生ファンタジスタオリジナル授業 後期集中講義「食と観光実践」開講

9月から12月にかけて土日を利用して行われる、県内高等教育機関合同開講授業「食と観光実践」が始まりました。今年度は、皇學館大学と四日市大学の学生計12名が参加します。松阪駅周辺をフィールドとして、「食と観光」を切り口に、地域課題の発見とその解決方法をグループワークなどを通じて学んでいきます。

今後の新型コロナウイルス感染症の動向によっては、オンライン形式で進めていきます。

発行元：高等教育コンソーシアムみえ 事務局
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

